

静岡新聞

〒422-8033
静岡市駿河区登呂3-1-1
静岡新聞社
電話(054)282-1111
1ヵ月(朝夕)2,900円 100円(税別)
◎静岡新聞社2011
浜松総局 浜松市中区旭町11-1
プレスタワー内
電話(053)455-3355
東部総局 沼津市魚町1
サンフロント内
電話(055)962-0380

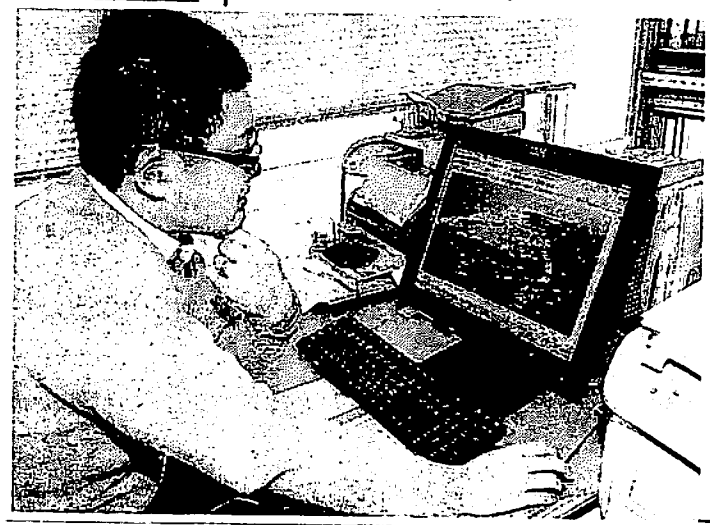
聴覚障害者に届かぬ情報

東日本大震災や富士宮市で最大震度6強を観測した県東部の地震で、文字情報を生活の大きな支えにしている聴覚障害者が、音声中心の緊急情報を理解できず、状況の把握や避難の判断などに苦しんでいる実情があらためて浮き彫りになった。大震災に伴って県東部が対象になった計画停電でも情報不足に不安を訴える聴覚障害者は多く、県聴覚障害者協会は緊急時での障害者に対する理解と協力を求めている。同協会によると、携帯

音声中心で理解不十分

電話やインターネットの普及で、聴覚障害者の情報収集ツールは広がったが、緊急時に何よりも頼りにするのはテレビの速報という。ただ、画面に映し出される字幕だけでは、正確な情報がかめないケースも多い。聴覚障害がある鈴木誠一さん(33)「富士市」は計画停電について、「停電を伝える同報無線は流れたようだが、聞こえない。テレビでは住んでいる場所が何時から停電になるか分からなかった」と振り返った。聴覚障害

▼インターネットで東日本大震災の被害状況を知る小倉さん。被災地の聴覚障害者を心配する＝静岡市葵区の県聴覚障害者協会事務局



者で同協会理事を務める小倉健太郎さん(27)は「手話も字幕もないテレビの速報では、情報が即時に入らないので不安」と訴える。駅や避難所など、屋外での情報収集はさらに困難で、東北地方で被災した聴覚障害者のブログには「駅で皆が行く方についていくしかなかった」「炊き出しの列で何をど

県協会、協力呼び掛け

のくらいもらえるか不明」などと書き込まれているという。県内の聴覚障害者団体は防災学習会を開き、筆談の求め方など、緊急時の対応を学んでいる。小倉さんは「ちよっと書いてもらうだけで状況が分かるので、聴覚障害者が周りにいたら力を貸してほしい」と呼び掛ける。